

滋賀県防災アプリの開発について

-自助よし、共助よし、公助よし- 三方よしの防災アプリ

1 趣旨

適時的確に防災気象情報を伝達し、避難行動を促す、スマートフォン対応アプリケーションを開発する。

2 課題

- ① 防災危機管理局と土木交通部がそれぞれ「滋賀県防災ポータル」「滋賀県土木防災情報システム」「ロードネット滋賀」により防災情報を提供。情報が分散している。
- ② 災害リスクに対して避難行動等を整理していない場合に、現行の「しらしが」等のシステムによる通知を受けても、防災情報を自分事と捉えにくい。



(図1) 県が提供する防災情報の例

3 滋賀県防災アプリの機能（案）

課題を解決するため、①防災情報を一元化し、②ユーザのマイ・タイムライン作成と避難行動を支援する滋賀県防災アプリを、部局間で連携して開発する。

① 防災情報の一元化

単一のアプリで必要な情報を選択し取得することが可能となり、確実かつ迅速な情報伝達が実現する。**【公助よし】**



表示項目

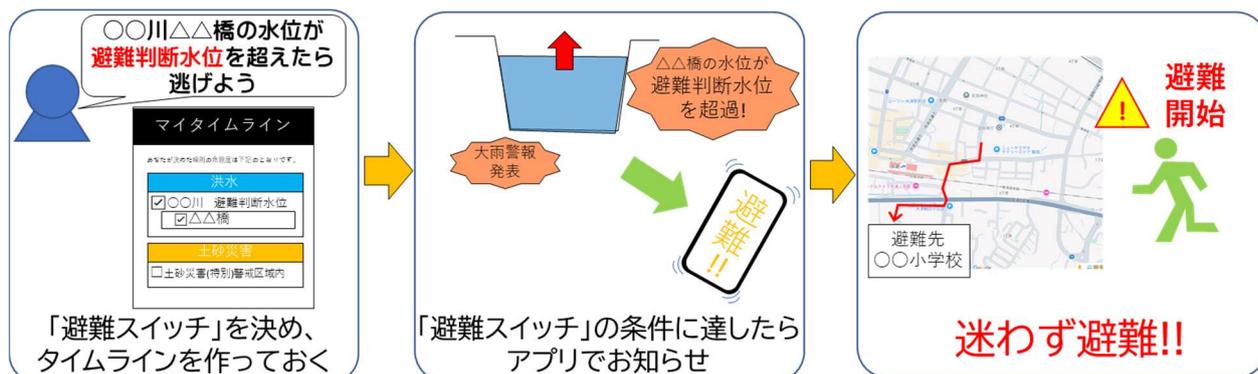
- ・防災情報マップ(地先の安全度マップ、土砂災害警戒区域等)
- ・避難情報 ・県からの緊急のお知らせ(マイ・タイムラインに関すること)
- ・気象情報(注意報、警報、特別警報) ・避難所開設情報
- ・緊急地震速報 ・土砂災害警戒情報/降雨危険度
- ・雨量/河川水位 ・河川水位に関する予警報
- ・ダム放流情報/緊急放流情報 ・事前通行規制情報 など

(図2) アプリのトップ画面と表示項目(案)

② マイ・タイムライン作成

従来、防災危機管理局と流域政策局が協力し、自治会や学校の出前講座等で推進していたマイ・タイムラインを**アプリによりデジタルで作成・保存**し、避難行動の目安に設定した情報（避難スイッチ）がプッシュ通知されることで、避難行動を強力にサポートする。**【自助よし】**

さらに、**タイムラインを地域で共有**し、逃げ遅れを防ぎ、避難訓練等に利用可能な支援機能を構築予定。**【共助よし】**



(図3) マイ・タイムライン機能のイメージ

※マイ・タイムライン … 浸水や土砂災害などの災害リスクに対し、事前にひとりひとりが避難準備から避難完了までの行動のスイッチや計画を整理したもの。

4 導入までの予定

令和7年	4月頃	業務発注
	10月～	アプリ試験運用
令和8年	4月	運用開始（その後も適宜改良を継続していく）

5 その他

部局間連携を順次拡大し、若手職員の意見を積極的に取り入れることでニーズの高い機能の持続を図る予定。